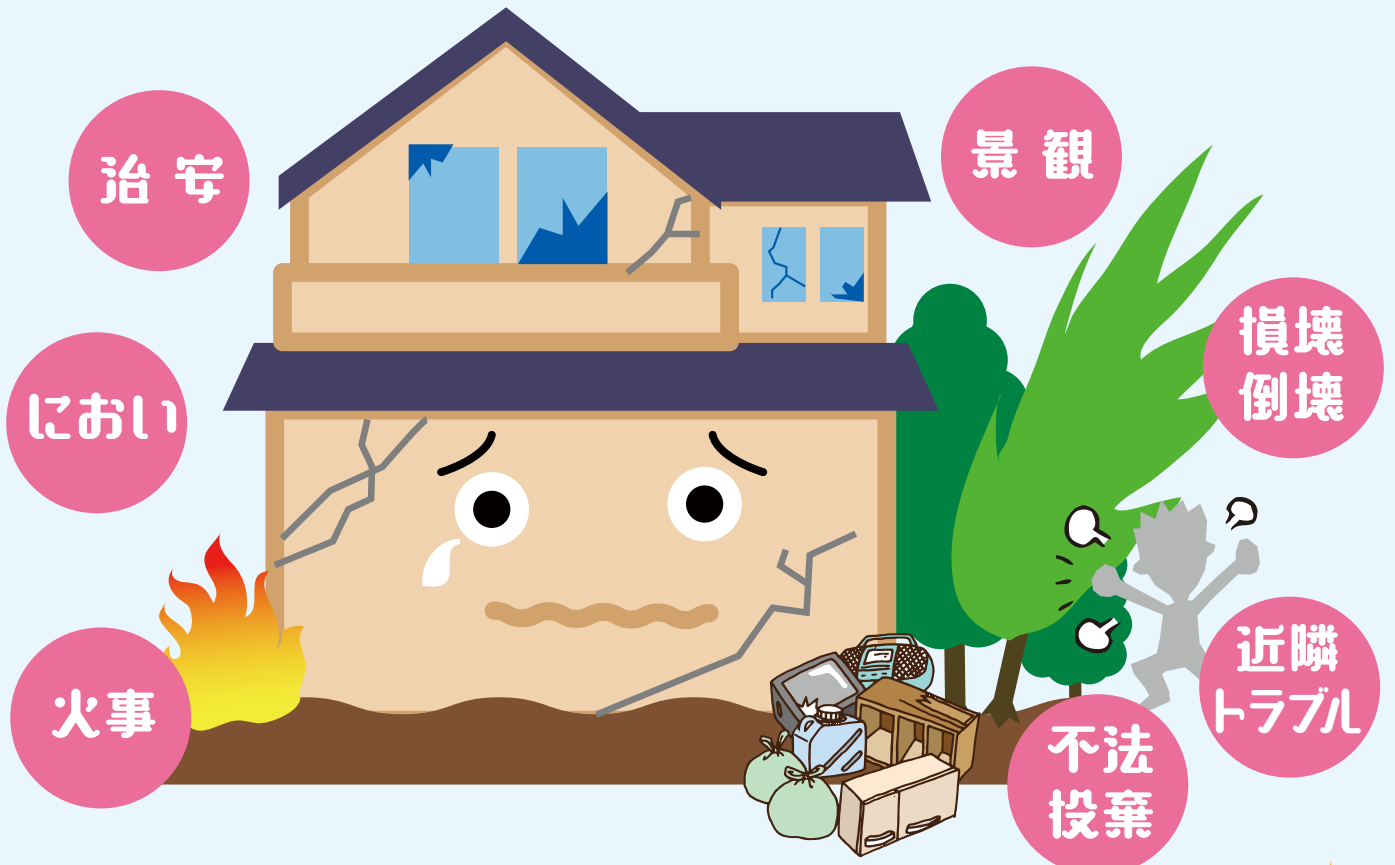


空き家について考えよう!



住宅は、居住者の転居や相続などをきっかけに空き家になることがあります。

空き家を放置すると様々な問題が生じ、近隣にも影響を与えるため、適切に管理する必要があります。

住んでいるときから、権利関係や登記、相続などについて整理し準備しておくことが大切です。



住宅の将来について考えましょう! 家族で話し合っていますか?

空き家を所有することになった要因で最も多いのは、相続により取得したケースです。今のうちから、お住まいの住宅に住まなくなるときのことを考え、相続権のある方と、今後について相談し、準備しておくことが大切です。

空き家を適切に管理しましょう! 空き家の手入れをしていますか?

空き家を適切に管理しないで放置すると、様々な問題が発生するおそれがあります。屋根や外壁の一部が飛散したり、塀や樹木が倒れたりして、他人が怪我などをした場合、空き家所有者の責任となり、損害賠償を求められることもあります。定期的な建物の状況確認、雨漏りなどの速やかな補修が、建物の劣化を防ぎます。

空き家や跡地を活用しましょう! 使い道を考えてみませんか?

建物を使わないままにしておくと、傷みの進行が早まり、いざ使おうとしたときに使えなくなることがあります。もし、ご家族でどなたも使用する予定がないときは、建物の売却や賃貸、解体しての跡地利用などについて、早めに不動産の専門家に相談しましょう。